

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕  
夏花壇におけるヒマワリの品種特性

吉岡孝行・田旗裕也  
(江戸川分場)

---

【要約】夏花壇におけるヒマワリは、草姿の形質、開花の早晩性、開花期間、花色などに、品種間差が大きく現れる。頂花の開花期間は、全品種平均9日間で、「サンタステックイエロー」13日は顕著に長かった。「ミスサンシャイン」ともに観賞性が高い。

---

【目的】

ヒマワリは数少ない夏期の花材の中にあつて、利用が期待される花きの一つである。そこで、5月下旬および6月上旬播種の夏花壇（観賞期：7月下旬～8月中旬）における品種特性を評価し、ヒマワリ活用の基礎データを得る。

【方法】

表1の「小夏」以下13品種を供試し、5月24日および6月2日に市販培養土「コープN50」を充填したセルトレイ72穴に播種を行った。無移植によるセルトレイ苗を6月8日および6月20日に花壇へ定植を行った。花壇は畝間60cm, 通路50cm, 株間20cm, 条間20cm, 1区2.5㎡2連制とした。基肥：N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O8-8-8kg/10aを施用した。7月中旬より茎、葉の形状や主茎長、開花の早晩性、花色などを調べた。

【成果の概要】

1. ヒマワリは、分枝の型、毛じの発生、アントシアン着色および葉色の程度、花粉の有無などで品種間による違いが現れた（表1）。「サンセ・イ、同レ、バラード」は全体の分枝型で主茎太く、側枝、毛じ多く、アントシアン着色が強～中、葉色濃い形質を認めた。「サンタ、ミス」は主茎太く、生育の揃いに優れた。
2. 「小、グッド、ミス、ビッグ」は基部分枝型で、いずれも主茎長が小さかった（表1・2）。「ジェ、サマー」は、主茎長、花径とも大きく、切り花種の形質が現れた。
3. 頂花の開花は、5月24日播種区「ビッグ、サマー」7月15日が早く、最も遅い「バラ」は7月27日からとなった。「サンタ」13日、「ビッグ」12日、「グッド、ミス」11日などの開花期間を認めた。「ソリ、パノ、ジェ」は、自重により花が垂れ下がって咲いた。「サンタ」は各節より花を付け、「ミス」は太くて長い側枝を形成した。6月2日播種区は、8月上中旬の台風5号の影響を受けたため、生育途中で調査を終えた（表2）。
4. 花は橙黄および黄の2種類の花色からなり、切り花品種「サマー」鮮橙黄（N02205）を基準色にした各品種の明度、色彩、色差を表3に示した。「サンセ・フ、ジェ、サンタ、サンセ・イ」の明度は明るかった。「小、ソリ、ミス」は「サマー」との色差が小さく、切り花種に求められる形質を認めた。
5. まとめ：ヒマワリの5月24日および6月2日播種は、7月中下旬から8月上中旬に開花した。主茎長21～101cm、花は橙黄および黄の2種類の花色からなり、10日前後の開花期間を示した。「サンタ、ミス」は開花期間が長く、生育揃い観賞性に優れた。
6. 留意点：「小、グッド、ビック、ジェ」は、斑点病（*Cercospora pachypus*）を発病した。

表1 ヒマワリ品種の株・茎、葉の形状、花粉の有無、生育揃い

品種名	略称	種苗 <sup>a)</sup> 会社	株・茎の形状			葉の形状			葉色		花粉 <sup>c)</sup>			
			分枝の型 <sup>b)</sup>	主茎径 (mm)	側枝数 (本)	毛じ	アントシア ン 着色程度	葉数 (枚)	葉長 (cm)	葉身長 (cm)	SPAD値	観察	(有無)	揃い <sup>d)</sup>
小夏	小	サ	基部	13.8	5.8	中	無~弱	12.1	31.2	18.3	28.2	やや淡	無	×
サンタステック イエロー	サンタ・イ	サ	全体	16.2	9.7	中	中	15.1	31.9	19.9	38.0	濃	無	○
グッドスマイル	グッド	タ	基部	15.3	7.5	微	無~弱	17.1	37.5	20.8	31.1	中	無	×
サンセーションF1 イエロー	サンセ・イ	ハ	全体	21.5	14.7	多	中	19.3	38.7	22.3	38.0	濃	無	○
サンセーションF1 レモン	サンセ・レ	ハ	全体	19.2	12.4	多	強	18.6	34.8	20.0	39.2	濃	無	○
サンセーションF1 フレーム	サンセ・フ	ハ	全体	16.9	10.0	微	中	16.5	29.8	17.9	42.1	濃	無	○
ソリータ	ソリ	ハ	全体	17.5	13.6	微	無~弱	20.9	30.6	18.3	37.9	濃	無	○
ミスサンシャイン	ミス	M	基部	17.7	7.6	微	無~弱	14.3	33.2	19.5	32.4	やや淡	無	○
バラード	バラ	M	全体	19.9	14.5	多	中	16.3	34.1	20.1	36.0	濃	無	○
パノチ ゴールド	パノ	タ	全体	17.3	13.5	中	無~弱	19.0	34.0	19.5	40.1	濃	無	○
ビッグスマイル	ビッグ	タ	基部	13.5	6.1	中	無~弱	12.3	35.6	23.2	26.9	やや淡	有	×
ジェイド	ジェ	サ	全体	14.3	5.8	微	無~弱	18.3	31.7	19.1	27.4	淡	有	○
F1サマー サンリッチ オレンジ45	サマー	タ	全体	14.8	5.6	微	無~弱	13.1	34.9	21.0	35.4	中	無	○

a) 種苗会社の略称 サ:サカタのタネ タ:タキイ種苗 ハ:ハクサンインターナショナル M:M&B

b) 分枝の型 基部:主として分枝を株元から形成 全体:主として主茎全体より側枝を形成

c) 観察により開花時に生じる花粉の有無。 d) 7月28日, 8月4日・8日の観察による調査。 その他項目の調査日:2016年7月21~29日 (n=16)

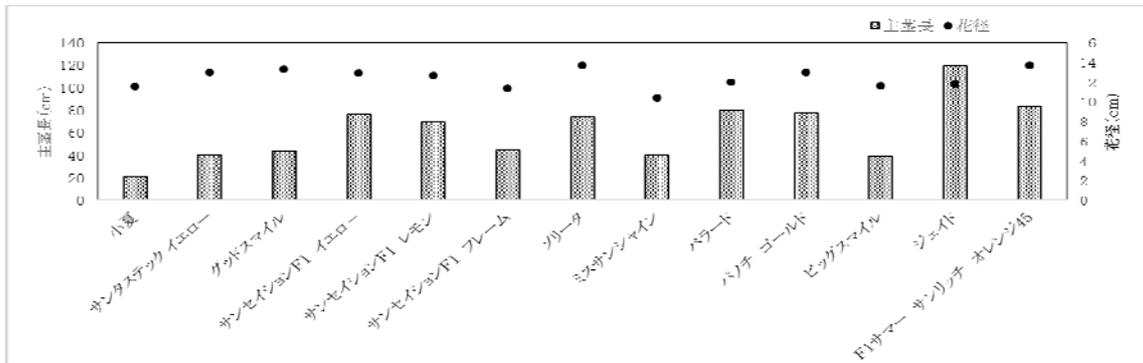


図1 ヒマワリ品種の主茎長および花径

表2 ヒマワリ品種の開花(頂花)期間

品種名	7/15	7/17	7/19	7/21	7/23	7/25	7/27	7/29	7/31	8/2	8/4	開花期間 (月日)
F1サマーサンリッチ オレンジ45	▲											台風5号の影響により調査中止
ビッグスマイル	▲											
サンセーションF1 レモン	▲											
サンセーションF1 イエロー	▲											
サンタステック イエロー	▲											
グッドスマイル	▲											
小夏	▲											
サンセーションF1 フレーム	▲											
ジェイド	▲											
ミスサンシャイン	▲											
ソリータ	▲											
パノチ ゴールド	▲											
バラード	▲											

a) ▲ 5月24日播種ヒマワリの頂花の開花期間(n=8)。

表3 「F1サマー サンリッチ オレンジ45」を基準色としたヒマワリ品種の花色、明度、色度および色差

品種名	花色 <sup>a)</sup> 系統色名	明度 L*	色度			色差 <sup>b)</sup>		
			a*	b*	ΔL*	Δa*	Δb*	ΔE*ab
F1サマーサンリッチ オレンジ45	鮮橙黄(2205)	77.3	21.7	116.2	-	-	-	-
ビッグスマイル	鮮橙黄(2205)	79.9	18.9	91.6	2.6	-2.9	-24.6	24.9
サンセーションF1 レモン	鮮橙黄(2205)・濃橙黄(2206)	60.3	20.0	71.8	-17.0	-1.7	-44.4	47.5
サンセーションF1 イエロー	鮮黄(2507)	82.0	10.0	96.1	4.7	-11.8	-20.1	23.8
サンタステック イエロー	鮮黄(2507)	82.0	9.6	106.1	4.7	-12.2	-10.1	16.5
グッドスマイル	鮮橙黄(2205)	77.7	22.7	101.8	0.4	1.0	-14.4	14.5
小夏	鮮橙黄(2205)	77.4	22.4	112.1	0.1	0.7	-4.1	4.2
サンセーションF1 フレーム	明橙黄(2204)	88.4	-4.4	59.0	11.1	-26.1	-57.2	63.0
ジェイド	浅黄(2504)	88.4	-3.0	52.8	11.1	-24.7	-63.4	69.0
ミスサンシャイン	鮮橙黄(2205)	75.8	26.4	114.4	-1.5	4.7	-1.8	5.2
ソリータ	鮮黄(2507)	80.1	14.4	117.2	2.9	-7.4	1.0	8.0
パノチ ゴールド	鮮黄(2507)	81.3	10.1	106.2	4.0	-11.7	-10.0	15.9
バラード	鮮黄(2507)	81.6	10.8	102.1	4.3	-10.9	-14.1	18.3

a) 日本園芸植物標準色票による系統名。 b) 分光側色計CM-700d (SCI, 測定径3mm, D65光源, 10°視野) による測定値。